

北海道自治体学会運営委員会

会の運営方針などは毎年の総会で決定され、日常的な運営は2年ごとに総会で選出される運営委員が行っています。

【2021～2022 年度の運営体制】五十音順

■代表運営委員

辻 ひろし（登別市議会議員）
永井 真也（室蘭工業大学）
米一 彰夫（北海道職員）

■運営委員

[事務局長] 安田 あきの（北海道職員）
石井 和平／石垣 周一／大貝 健二
大山 幸成／小山田 健／加藤 知愛
齋藤 方嗣／佐藤 みゆき／鹿谷 雄一
菅原 文子／高田 誠／竹中 進一
玉田 悟／西 大志／畠山 大
藤根 美穂／古内 伸一／堀 直人
松井 健／松田 兼宗／宮下 照太郎
武藤 俊雄／望月 貴文／横山 翔
吉田 博

■監事

今川 かおる／大坂 敏文

■歴代代表運営委員

森 啓／川村 喜芳／中島 興世
小林 勝彦／嶋田 浩彦／神原 勝
中島 和子／桑原 隆太郎／片山 健也
佐藤 克廣／渡辺 克生／今川 かおる
松山 哲男／西科 純／石井 吉春
西村 宣彦／宮下 裕美子／大坂 敏文

北海道自治体学会は あなたの参加を待っています

★入会すると…

- 会の活動や特集記事、**会員の投稿**などを掲載したニュースレターを**メール配信**します。
（年数回発行、HP会員専用ページにも掲載）
- 毎年開催の「政策シンポジウム」と「地域フォーラム」のほか、**Zoom**による「**オンライン研究会**」、各種研究会活動など、身近な交流と研究の機会があります。
- 会員限定の Facebook グループに参加し、様々な情報交換ができます。
- 会員が中心となって行う学習会や研究会などに対し、支援や助成が受けられます。
- アニュアルレポート（年報）**をお届けします。

★入会するには…

- 会員には個人会員と団体会員があります。
個人会員 年会費 3,000円
（学生会費 **無料**※毎年申請が必要です）
団体会費 年会費 1口10,000円
- 北海道自治体学会のホームページ（HP）から、お申し込みください。<http://jিতai.net.hokkaido/>
（ご連絡いただければ、事務局から入会申込書の郵送もいたします。）

会費振込口座

- 北洋銀行
道庁支店(店番号475) 普通預金3536123
北海道自治体学会(ホッカイドウジチタイガックイ)
- ゆうちょ銀行
店名九〇八(店番908) 普通預金5000055
北海道自治体学会(ホッカイドウジチタイガックイ)

入会のご案内

北海道自治体学会

—今、私ができること—



北海道自治体学会は、フォーラムやシンポジウム、ニュースレター、インターネット、**各種研究会活動**等によって自治に関する実務と理論の出会いをめざす場。
北海道自治体学会でネットワーキングを！

HP: <http://jিতai.net.hokkaido/>

(事務局)

〒068-8555 江別市文京台 11 番地
札幌学院大学法学部 石井和平研究室内
Eメール jichi.hokkaido@gmail.com

北海道自治体学会とは

北海道自治体学会は、1995年に設立されました。

憲法には地方自治の本旨が定められましたが、永らく自治体は中央省庁の末端で事務を執行する地方行政機関でした。

しかし、時代は大きく転回しました。

自治体の政策自立は必然的な時代の流れです。自治体学とは、「現代社会の課題を解明するために理論枠を組み替え、基礎概念を再構築した自治体関連の諸学の総称」と定義できます。

研究者は現場の実務から理論化のヒントをつかみ、職員、市民、議員は理論と基礎概念に導かれてまちづくりを実践します。

北海道自治体学会の会員は自治体職員、研究者、ジャーナリスト、企業の職員、議員や首長、市民、自治体職員を目指す学生など多彩です。

様々な分野、立場の異なる人々が相互の考え方に触れ、情報や経験を交流することによって、自身の問題意識が触発されて政策構想能力を高めることができます。

※ 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「政策シンポジウム」及び「地域フォーラム」の開催を中止しています。

北海道自治体学会のこれまでの活動

- 1995年7月、ニセコ町で開催された北海道フォーラムの場で設立総会を開き、発足しました。
- 毎年、札幌で「政策シンポジウム」を、各地で「地域フォーラム」をそれぞれ開催しています。

【政策シンポジウム】※開催地はすべて札幌

第1回	1995.11.3	情報公開と住民参加
第2回	1996.11.30	地方分権と自治体の自己改革
第3回	1997.11.2	地域政策づくりをどう進めるか
第4回	1998.11.14~15	自治体の新段階と新展望
第5回	1999.6.26	地域を変える私の挑戦
第6回	2000.7.2	これからの市民と自治体
第7回	2001.6.17	続・これからの市民と自治体
第8回	2002.6.30	誰が公共を担うのか？
第9回	2003.6.1	北海道自治のかたち
第10回	2004.6.6	自立への挑戦
第11回	2005.6.12	原点から見通す地域の将来
第12回	2006.5.28	いま再び、市町村自治をとらえ直そう
第13回	2007.6.2	わがまちの財政は？夕張問題に学ぶ
第14回	2008.5.31	自治体財政への住民参加
第15回	2009.5.23	北海道の自主独立-自治・分権とはなにか
第16回	2010.5.22	政権交代と自治・分権～北海道から考える
第17回	2011.5.28	人口減少時代の地域経営
第18回	2012.5.26	地域活性化のための現場力
第19回	2013.6.1	実践的住民自治
第20回	2014.5.10	地域にイノベーションを起こす
第21回	2015.5.16	人口減少社会を見据えた地域づくりとは
第22回	2016.5.14	観光と地域振興-北海道にしかできない新たな観光とは
第23回	2017.5.20	持続可能な地域社会の創造とは
第24回	2018.5.19	地域と街なみの再生～エリアバージョン・北海道での可能性
第25回	2019.5.25	災害対応と自治～北海道胆振東部地震の経験に学ぶ～

【地域フォーラム】※()は開催地

第1回	1995.7.8~9	(ニセコ町)
第2回	1996.6.29~30	(白老町)
第3回	1997.6.28~29	(江差町)
第4回	1998.9.26~27	(弟子屈町)
第5回	1999.10.16~17	(北見市)
第6回	2000.10.14~15	(芽室町)
自治体学会全国大会 2001.8.23~24 (函館市)		
第7回	2002.8.31~9.1	(風連町)
第8回	2003.12.7	(北広島市)
第9回	2004.11.6~7	(女満別町)
第10回	2005.10.1	(札幌市)
第11回	2006.10.28	(室蘭市)
第12回	2007.10.13	(旭川市)
第13回	2008.9.6	(恵庭市)
第14回	2009.10.3~4	(夕張市)
第15回	2010.10.16	(七飯町)
第16回	2011.10.29	(士別市)
第17回	2012.10.13~14	(芽室町)
第18回	2013.10.26	(登別市)
第19回	2014.10.18	(旭川市)
第20回	2015.9.26	(岩見沢市)
第21回	2016.10.29	(江別市)
第22回	2017.11.11	(下川町)
第23回	2018.9.23	(札幌市)
第24回	2019.11.23	(木古内町)